○【がん対策】各指標の状況

資料１－４

施策

【がん予防】

喫煙防止		策定時	1年後	2年後	3年後
「たばこの煙の無いお店」登録数		601店 【R4】	642店 【R5】	709店 【R6】	737店 【R7】
生活習慣の改善		策定時	1年後	2年後	3年後
1日あたりの平均脂肪エネルギー比率（30～59歳）		27.7% 【R4】	－	－	－
成人1日あたり平均食塩摂取量		11.0g 【R4】	－	－	－
成人1日あたり平均野菜摂取量		274g 【R4】	－	－	－
肥満の人の割合（30～49歳男性）		35.5% 【R4】	－	－	－
運動習慣者の割合	男性	45.0%	－	－	－
	女性	37.1%			
		【R4】			
がんの要因となる感染症への対策		策定時	1年後	2年後	3年後
HPVワクチンの実施率 （※）令和6年度に実施された初回接種の実施回数を当該年度の女子の人口で除した実施割合（速報値）		－	8%(※) 【R4】	10.3%(※) 【R5】	13.4%(※) 【R6】
肝炎ウイルス検診（40歳検診）受診率	B型肝炎	8.2%	7.1%	7.6%	7.1%
	C型肝炎	8.2%	7.1%	7.6%	7.1%
		【R3】	【R4】	【R5】	【R6】
がん検診受診率の向上取組		策定時	1年後	2年後	3年後
がん検診受診率（住民健診、職域検診、人間ドック等を含む）	乳がん	51.2%	－	－	50.5%
	子宮頸がん	47.0%			47.2%
	大腸がん	45.7%			47.7%
	胃がん	47.1%			49.3%
	肺がん	48.7%			50.7%
		【R4】			【R7】
がん検診受診率（市町村のがん検診だけ）	乳がん	17.0%	17.1%	17.2%	17.4%
	子宮頸がん	18.6%	18.5%	18.3%	18.3%
	大腸がん	7.9%	7.7%	7.6%	7.8%
	胃がん	8.4%	8.7%	8.4%	8.3%
	肺がん	6.8%	6.8%	6.6%	6.4%
		【R3】	【R4】	【R5】	【R6】
検診の精度管理		策定時	1年後	2年後	3年後
精密検査受診率（市町村のがん検診だけ） ※乳がん:外れ値を補正	乳がん	86.6%	84.1%	82.4%	86.0%
	子宮頸がん	77.9%	76.7%	79.6%	78.2%
	大腸がん	63.7%	65.0%	65.8%	65.4%
	胃がん				
	胃部X線	71.9%	66.8%	70.7%	69.9%
	胃内視鏡	94.7%	95.7%	92.4%	92.2%
	肺がん	86.4%	81.6%	83.2%	85.6%
		【R2】	【R3】	【R4】	【R5】

中間アウトカム

喫煙率の減少		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
20歳以上の喫煙率	総計	15.7%	－	－	14.7%	12%
	男性	26.1%			23.8%	
	女性	6.7%			5.4%	
		【R4】			【R7】	
20歳未満（15～19歳）の喫煙率	男性	0%	－	－	－	
	女性	0%				
		【R4】				
妊婦の喫煙率		1.5% 【R3】	1.2% 【R4】	1.5% 【R5】	1.2% 【R6】	
早期がん割合の増加		策定時	1年後	2年後	3年後	
検診がん種別早期がん割合	乳がん	69.7%	67.1%	68.1%	－	
	子宮頸がん	82.5%	79.3%	77.5%	－	
	大腸がん	60.1%	57.1%	58.7%	－	
	胃がん	56.5%	52.1%	54.3%	－	
	肺がん	41.8%	39.1%	40.4%	－	
		【R元】	【R2】	【R5】	－	
がん検診受診率の向上		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
【再掲】がん検診受診率（住民健診、職域検診、人間ドック等を含む）	乳がん	51.2%	－	－	50.5%	60%
	子宮頸がん	47.0%			47.2%	
	大腸がん	45.7%			47.7%	
	胃がん	47.1%			49.3%	
	肺がん	48.7%			50.7%	
		【R4】			【R7】	
【再掲】がん検診受診率（市町村のがん検診だけ）	乳がん	17.0%	17.1%	17.2%	17.4%	
	子宮頸がん	18.6%	18.5%	18.3%	18.3%	
	大腸がん	7.9%	7.7%	7.6%	7.8%	
	胃がん	8.4%	8.7%	8.4%	8.3%	
	肺がん	6.8%	6.8%	6.6%	6.4%	
		【R3】	【R4】	【R5】	【R6】	
精密検査受診率の向上		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
【再掲】精密検査受診率（市町村のがん検診だけ） ※乳がん:外れ値を補正	乳がん	86.6%	84.1%	82.4%	86.0%	90%
	子宮頸がん	77.9%	76.7%	79.6%	78.2%	
	大腸がん	63.7%	65.0%	65.8%	65.4%	
	胃がん					
	胃部X線	71.9%	66.8%	70.7%	69.9%	
	胃内視鏡	94.7%	95.7%	92.4%	92.2%	
	肺がん	86.4%	81.6%	83.2%	85.6%	
		【R2】	【R3】	【R4】	【R5】	

最終アウトカム

がんを知り、がんを予防するとともに、がん検診等による早期発見・早期治療の定着		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
年齢調整罹患率（人口10万人あたり）	総数	720.9	714.6	733.6	－	全国値より10%低い状態
	男性	926.3	926.0	932.4	－	
	女性	571.8	558.4	589.7	－	
		【R元】	【R2】	【R5】	－	
	乳がん（女）	127.9	129.3	149.7	－	
	子宮がん（女）	39.4	44.6	40.3	－	
	大腸がん（男女）	109.9	109.3	115.2	－	
	胃がん（男女）	83.5	80.1	69.6	－	
	肺がん（男女）	97.4	93.1	93.3	－	
		【R元】	【R2】	【R5】	－	

○【がん対策】各指標の状況

施策

【がん医療の充実】

医療提供体制の均てん化・集約化	策定時	1年後	2年後	3年後
三重医療安心ネットワークへの登録患者数	31,293人 【R5.12】	33,445人 【R6.12】	34,946人 【R7.12】	36,360人 【R8.7】
全国共通がん医科歯科連携講習会を受講し、手術前患者を対象とした歯科治療と口腔ケアについての知識を習得した歯科医師数	268人 【R4】	266人 【R5】	260人 【R6】	253人 【R7】
がんゲノム医療の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
がんゲノム拠点病院においてがん遺伝子パネル検査を実施し、エキスパートパネルで検討を行った症例数	355人 【R3.7～R4.6】	378人 【R4.7～R5.6】	377人 【R5.7～R6.6】	-
エキスパートパネルの結果、選択肢が提示された治療薬の投与に至った割合	11.3% 【R3.7～R4.6】	9.2% 【R4.7～R5.6】	9.8% 【R5.7～R6.6】	-
がんのリハビリテーションの推進	策定時	1年後	2年後	3年後
人口10万人あたりのがん患者リハビリテーション料の算定件数	3,904.7回 【R3】	3,918.4回 【R4】	4,577.9回 【R5】	4,493.2回 【R6】
三重県がんリハビリテーション研修会実行委員会によるがんリハビリテーション研修会の（累積）開催回数	9回 【R5】	10回 【R6】	11回 【R7】	12回 【R8】
支持療法の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
リンパ浮腫外来を設置している拠点病院等	4施設 【R5.9】	4施設 【R6.9】	4施設 【R7.9】	-
希少がんおよび難治性がん対策の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
膵がんの早期発見割合	20.3% 【R元】	24.5% 【R2】	26.1% 【R5】	-
手術療法の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
手術支援ロボットを保有する病院数	9病院 【R5.9】	9病院 【R6.9】	10病院 【R7.9】	-
放射線療法の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
リニアックを保有する病院数および台数	11病院15台 【R2】	10病院14台 【R5】	-	-
薬物療法の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
外来化学療法室を有する施設数および病床数	26施設249床 【R2】	29施設306床 【R5】	-	-

中間アウトカム

拠点病院および準拠点病院の整備	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
拠点病院・準拠点病院の指定数	9病院 【R5.9】	9病院 【R6.9】	9病院 【R7.9】	9病院 【R8.9】	10病院
がん生存率の向上	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
5年生存率（ネット・サバイバル ）	65.7% 【H26-27症例】	-	-	-	全国値を上回った状態での上昇
手術療法／放射線療法／薬物療法実施件数の向上	策定時	1年後	2年後	3年後	
人口10万人あたりの病院での悪性腫瘍手術の実施件数	34.3回 【R2】	33.0回 【R5】	-	-	
県内におけるがんに関するロボット支援手術の件数	554件 【R4】	618件 【R5】	767件 【R6】	-	
人口10万人あたりの放射線治療（対外照射）の実施件数	93.6回 【R2】	56.0回 【R5】	-	-	
人口10万人あたりの病院での外来化学療法の実施件数	188.7回 【R2】	255.5回 【R5】	-	-	
がんに携わる医師の緩和ケアに対する理解の向上	策定時	1年後	2年後	3年後	
医師およびメディカルスタッフを対象とした緩和ケア研修の累積修了者数	医師	2,116人	2,247人	2,383人	2,444人
	メディカルスタッフ	485人	547人	594人	608人
		【R5.12】	【R6.12】	【R7.12】	【R8.8】
拠点病院・準拠点病院における緩和医療学会が認定する専門医または認定医数	5病院7人 【R5.9】	6病院8人 【R6.4】	7病院9人 【R7.4】	7病院10人 【R8.4】	

最終アウトカム

適切な医療を受けられる体制の充実		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
年齢調整死亡率（人口10万人あたり）	総数	267.8	259.4	259.4	251.0	全国値より10%低い状態
	男性	378.8	367.7	359.8	348.2	
	女性	189.1	183.8	188.0	182.5	
		【R4】	【R5】	【R6】	【R7】	

○【がん対策】各指標の状況

施策	中間アウトカム	最終アウトカム

チーム医療の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
拠点病院・準拠点病院におけるチーム医療体制の整備数	9病院 【R5.9】	9病院 【R6.9】	9病院 【R7.9】	-
がん患者の口腔健康管理のため院内または地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院、準拠点病院、連携病院の数	16病院 【R5.9】	18病院 【R6.9】	18病院 【R7.9】	-
拠点病院・準拠点病院における日本放射線腫瘍学会が認定する放射線治療専門医数	5病院14人 【R5.9】	5病院10人 【R6.9】	6病院12人 【R7.9】	-
拠点病院・準拠点病院における日本臨床腫瘍学会が認定するがん薬物療法専門医数	4病院11人 【R5.9】	4病院10人 【R6.9】	4病院13人 【R7.9】	-
拠点病院・準拠点病院における日本がん治療認定医機構が認定するがん治療認定医数	8病院97人 【R5.9】	7病院92人 【R6.9】	8病院104人 【R7.9】	-
拠点病院・準拠点病院の外来化学療法室等における日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師数	3病院11人 【R5.9】	3病院11人 【R6.9】	3病院9人 【R7.9】	-
拠点病院・準拠点病院における日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）数。また、日本看護協会が認定する認定看護師（がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）数	専門看護師 7病院11人 認定看護師 9病院29人 【R5.9】	専門看護師 7病院10人 認定看護師 9病院29人 【R6.9】	専門看護師 7病院12人 認定看護師 9病院34人 【R7.9】	-
診断時からの緩和ケアの推進	策定時	1年後	2年後	3年後
緩和ケアチームを設置する病院数	22病院 【R6.1】	22病院 【R6.10】	22病院 【R7.10】	-
緩和ケア病床を有する病院数・病床数	10病院219床 【R6.1】	10病院210床 【R7.2】	9病院199床 【R7.10】	-
拠点・準拠点病院における緩和ケアチームの新規介入患者数	9病院989人 【R4】	9病院1,130人 【R5】	9病院1,529人 【R6】	-
がん医療に携わる医師の9割以上が緩和ケア研修を修了している拠点病院・準拠点病院数	2病院 【R5.9】	4病院 【R6.9】	4病院 【R7.9】	-
【再掲】拠点病院・準拠点病院における日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）数。また、日本看護協会が認定する認定看護師（がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）数	専門看護師 7病院11人 認定看護師 9病院29人 【R5.9】	専門看護師 7病院10人 認定看護師 9病院29人 【R6.9】	専門看護師 7病院12人 認定看護師 9病院34人 【R7.9】	-
小児・AYA世代のがん対策の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
三重大学医学部附属病院で育成する日本小児血液・がん学会が認定する小児血液・がん専門医数	4人 【R5.9】	4人 【R6.9】	5人 【R7.11】	5人 【R8.7】
拠点病院等における妊孕性温存療法の実施件数	24件 【R4】	28件 【R5】	21件 【R6】	-
妊孕性温存療法研究促進事業による妊孕性温存療法の治療費の助成件数	19件 【R4】	21件 【R5】	18件 【R6】	42件 【R7】

○【がん対策】各指標の状況

施策	中間アウトカム	最終アウトカム

高齢者がん対策の推進	策定時	1年後	2年後	3年後
当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院、準拠点病院、連携病院の数	15施設 【R5.9】	16施設 【R6.9】	16施設 【R7.9】	-
高齢者のがんに関して、意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況をふまえた対応を行っている拠点病院、準拠点病院、連携病院の数	17施設 【R5.9】	17病院 【R6.9】	17病院 【R7.9】	-

【がんとの共生】

相談支援および情報提供の充実	策定時	1年後	2年後	3年後
拠点病院等のがん相談支援センターでの相談対応件数	18,434件 【R4】	15,752件 【R5】	16,934件 【R6】	-
三重県がん相談支援センターでの相談対応件数	649件 【R4】	696件 【R5】	534件 【R6】	864件 【R7】
拠点病院、準拠点病院および三重県がん相談支援センターにおける国立がん研究センター主催の相談員研修を受講した相談員の人数	35名 【R5.9】	33名 【R6.9】	33名 【R7.9】	-

社会連携に基づくがん対策の推進		策定時	1年後	2年後	3年後
末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数（実数）	三重県全体	149施設	154施設	149施設	154施設
	北勢	75施設	76施設	76施設	76施設
	中勢伊賀	31施設	36施設	35施設	37施設
	南勢志摩	34施設	35施設	31施設	33施設
	東紀州	9施設	7施設	7施設	8施設
		【R4.3】	【R7.2】	【R8.1】	【R8.7】
専門医療機関連携薬局の認定数		4件 【R5.12】	4件 【R6.12】	4件 【R7.12】	4件 【R8.6】

がん患者の社会的な問題への対策	策定時	1年後	2年後	3年後
病院内のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	361件 【R4】	306件 【R5】	238件 【R6】	-
両立支援コーディネーター研修（累積）修了者数	192人 【R4】	241人 【R5】	295人 【R6】	340人 【R7】
拠点病院等におけるアピアランスケアに関する相談支援件数	59件 【R4】	124件 【R5】	145件 【R6】	-
県・市町におけるアピアランスケアに係る助成件数	―	443件 【R5】	512件 【R6】	621件 【R7】
院内で自殺リスクに対する研修会を開催している拠点病院・準拠点病院の数	4病院 【R5.9】	3病院 【R6.9】	3病院 【R7.9】	-
周囲の人からがんに対する偏見を感じるがん患者の割合	8.5% 【H30】	-	7.0% 【R5】	-

病気や療養生活について相談できたがん患者の増加	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	81.1% 【H30】	-	57.6% 【R5】	-	100%

希望に応じた在宅療養への移行	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
がん患者の在宅（介護医療院、介護老人保健施設、老人ホーム、自宅）死亡割合	31.1% 【R4】	30.3% 【R5】	30.4% 【R6】	29.3% 【R7】	全国値を上回った状態での上昇

がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の実現	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	60.9% 【H30】	-	87.3% 【R5】	-	75%

○【がん対策】各指標の状況

施策

ライフステージに応じたがん対策	策定時	1年後	2年後	3年後
小児がん拠点病院のがん相談支援センターにおける相談対応件数	1,046件 【R3】	470件 【R4】	362件 【R5】	-
拠点病院等のがん相談支援センターにおける小児・AYA世代のがん患者からの相談対応件数	407件 【R4】	396件 【R5】	459件 【R6】	-
就学、就労、妊孕性の温存、アピアランスケア等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援センターで対応できる体制を整備している拠点病院、準拠点病院、連携病院の数	15病院 【R5.9】	17病院 【R6.9】	15病院 【R7.9】	-
【再掲】高齢者のがんに関して、意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況をふまえた対応を行っている拠点病院、準拠点病院、連携病院の数	17病院 【R5.9】	17病院 【R6.9】	17病院 【R7.9】	-
高齢のがん患者に対して、必要に応じて高齢者総合機能評価を行っている拠点病院、準拠点病院、連携病院の数	9病院 【R5.9】	9病院 【R6.9】	9病院 【R7.9】	-

施策

【基盤整備】

がん研究・人材育成	策定時	1年後	2年後	3年後
【再掲】拠点病院・準拠点病院における日本放射線腫瘍学会が認定する放射線治療専門医数	5病院14人 【R5.9】	5病院10人 【R6.9】	6病院12人 【R7.9】	-
【再掲】拠点病院・準拠点病院における日本臨床腫瘍学会が認定するがん薬物療法医数	4病院11人 【R5.9】	4病院10人 【R6.9】	4病院13人 【R7.9】	-
【再掲】拠点病院・準拠点病院における日本がん治療認定医機構が認定するがん治療認定医数	8病院97人 【R5.9】	7病院92人 【R6.9】	8病院104人 【R7.9】	-
【再掲】拠点病院・準拠点病院の外来化学療法室等における日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師数	3病院11人 【R5.9】	3病院11人 【R6.9】	3病院9人 【R7.9】	-
【再掲】拠点病院・準拠点病院における日本看護協会が認定する専門看護師（がん看護）数。また、日本看護協会が認定する認定看護師（がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）数	専門看護師 7病院11人 認定看護師 9病院29人 【R5.9】	専門看護師 7病院10人 認定看護師 9病院29人 【R6.9】	専門看護師 7病院12人 認定看護師 9病院34人 【R7.9】	-
【再掲】拠点病院・準拠点病院における緩和医療学会が認定する専門医または認定医数	5病院7人 【R5.4】	6病院8人 【R6.4】	7病院9人 【R7.4】	7病院10人 【R8.4】
【再掲】三重大学医学部附属病院で育成する日本小児血液・がん学会が認定する小児血液・がん専門医数	4人 【R5.9】	4人 【R6.9】	5人 【R7.11】	5人 【R8.7】

施策

がん登録		策定時	1年後	2年後	3年後
院内がん登録全国集計に参加する病院数		12施設 【R4症例】	16施設 【R5症例】	16施設 【R6症例】	17施設 【R7症例】
全国がん登録届出対象診療所指定数		168施設 【R5.12】	166施設 【R6.12】	158施設 【R7.12】	160施設 【R8.9】
全国がん登録の精度指標としてのMI比およびDCO割合	MI比	0.38	0.38	0.38	-
	DCO 割合	2.0	1.8	1.6	
		【R元】	【R2】	【R5】	
がん教育・県民運動		策定時	1年後	2年後	3年後
小・中・高等学校における外部講師を活用したがん教育の実施回数		11回 【R5】	15回 【R6】	13回 【R7】	14回 【R8】
県民を対象とするがん予防やがん医療の啓発取組、患者支援等の取組に対して、県が共催または後援を行った件数		8件 【R4】	9件 【R5】	8件 【R6】	10件 【R7】
デジタル化		策定時	1年後	2年後	3年後
【再掲】三重医療安心ネットワークへの登録患者数		31,293人 【R5.12】	33,445人 【R6.12】	34,946人 【R7.12】	36,360人 【R8.7】
集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する、冊子や視聴覚教材等をオンラインでも提供している拠点病院、準拠点病院、連携病院の数		2病院 【R5.9】	2病院 【R6.9】	2病院 【R7.9】	-